

## 平成29年度(2017年度)第2回三者懇談会（吹田市立吹田保育園）

- 1 開催日時 平成29年7月1日(土) 午前10時～午前11時30分
- 2 開催場所 吹田保育園 遊戯室
- 3 出席者 吹田保育園保護者会会長、その他保護者8名  
社会福祉法人こばと会（こばと会理事長、こばと保育園長）  
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、児童部総括参事、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹、保育幼稚園室係員、吹田保育園長、吹田保育園長代理、吹田保育園保育士）
- 4 議題 1 質問及び考え方について
- 5 議事要旨

### 1 開会

吹田市： ただいまから第2回三者懇談会を開会いたします。はじめにお手元の資料確認をさせていただきます。

（資料の確認）

### 2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆様について御紹介させていただきます。

（出席者紹介）

### 3 質問及び考え方について

吹田市： 質問及び考え方について、にまいります。

前回の三者懇談会において、事前に御意見をいただき、それに対する考え方をお答えしながら議論を進めていくことにいたしました。いただいた御意見等に対して、回答いたします。

（吹田市から回答）

（社会福祉法人こばと会から回答）

吹田市： 本日はこばと会から保護者の皆様に御提案があるとお聞きしております。

こばと会： 給食試食会を開催したいと思っています。移管後の給食については、公立の献立をそのまま引き継ぐのではなく、こばと会が現在提供している献立に移行していきたいと考えています。この点は南保育園も同様ですので、同じ日に両園の希望者の方に御参加いただきたいと思っています。

日程は7月22日（土）と9月16日（土）で、場所はこばと保育園です。人数の調整をしながら開催したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

保護者： 御提案ありがとうございます。こばと保育園を見学してみたいという保護者や、給食試食会に興味を持つ保護者もおりますので、是非参加させていただきたいと思います。ただ、7月は行事が多く時間を確保するのが難しいので、参加を希望される保護者は自由参加とし、9月は保護者会として参加したいと考えています。

吹田市： では、給食試食会の開催に向けて調整を進めてまいります。

続いて質疑応答にまいります。何か御意見等がありますでしょうか。

保護者： 金銭面で一番苦勞するのは看護師の確保ということでした。今もこばと保育園で看護師を配置されていると思いますが、現状について教えてください。

こばと会： 看護師を配置することで補助金をいただいておりますが、金額は年間で430万円程度です。この金額で看護師の人件費を賄うのは難しいので、法人の負担が発生しています。

看護師を配置することで、子どもや保護者にとって安心な環境を提供することができます。また、保育士だけで判断をしなければいけないということがなくなりますので、働いている職員にとっても安心な環境となります。しかし、法人が負担する費用を捻出するために、どこかで節約しなければいけないということになります。

こばと会では50年近く前から産休明け保育をずっとやってきました。大きい子どももそうですけど、特に幼い子どもは突発的な熱が出たり、下痢をしたり、色々なことがあるので、看護師を配置しています。

看護師配置を行うことで発生する費用負担は、こばと会だけで解決できる問題ではないので、看護師を配置している法人に対して、何らかの補助等を市にも考

えていただけたらうれしいと思っています。

保護者： 他市の事例で、民営化後に建て替え工事を行った保育所でアスベストが見つかったとの話がありました。吹田保育園を移管する前に必要な調査を行うとは思いますが、万が一移管された後に危険な材料等が見つかった場合、除去等の費用負担はどうなるのでしょうか

吹田市： 茨木市の事例で、民営化後に建て替えを行うため古い園舎を解体したところ、アスベストが出てきたという話を聞いています。今、吹田市として明言できるのは、まずしっかりと調査を行うということです。調査を行った結果、アスベスト等が見つかったときには市としての方針をお答えします。

アスベストについては、平成 17 年度にいったん調査を終えています。ただ、昨年になってから、別の建材についても調べるように府を通じて国から通知が来ました。このように、後になって新たな基準が出来る場合もあるので、移管されてからどこまで責任を負うのかは市としても判断が難しいです。現時点で求められている基準に対してはしっかりと調査します。

保護者： 調査を行うように通知が来た内容以外の部分を、吹田市が独自で調査を行ったりはしないのですか。

吹田市： アスベストの使用状況について本格的な調査を行うのは、解体工事を行う前になってきます。今回は解体工事をする前に調べることとなりますので、必要な対象建材については調査を行います。それ以外のものについては調べようがありません。まずは求められている内容を調査させていただきます。

こばと会： 吹田保育園の竣工図を見て、どのような材料を使っているのか分からないのですか。

吹田市： 40 年以上前の竣工図を確認しましたが、吹田保育園と藤白台保育園は材料が明示されていませんでした。他の公立保育所 16 園は竣工図に材料が明示されており、アスベストの使用がありませんでした。ほぼ同じ年代に建設しているので、吹田保育園と藤白台保育園もおそらく使用していないとは思いますが、調査してみな

いとはっきりしたことは申し上げられません。

こばと会： 茨木市の事例では、園舎を解体するときに相当な金額がかかったと聞いています。もし、アスベストが見つかった場合の費用負担については、吹田市としっかり話し合っていきたいと思っています。

保護者： 保護者から吹田市やこばと会に質問をすることが多いですが、逆にこばと会の方から、こういう部分を変えたいと思っているとか、こういう部分が変わりますけど大丈夫ですかという質問はありますか。

こばと会： 私たちは保護者支援も大切な仕事であると考えていますので、保護者会の活動内容について教えてほしいと思っています。保護者会活動は、保護者が自主的に行うことなので、同じこばと会の保育園でもそれぞれ異なります。今は南保育園の活動内容を引き継いでいますが、同じ公立でも南と吹田では運営方法が異なります。とても大切なことだと思っていますので、しっかり教えていただきたいと思っています。

保護者： 今は、子どもが37.5度以上の熱を出した場合にはお迎えにきてくださいと言われていています。こばと会のホームページを見ると、病児保育をされていると書かれており、発熱した場合でもそのまま預かっていただけるのではないかと考えています。吹田保育園を引き継いだ後に取り入れていただくことは可能でしょうか。

こばと会： 過去には、熱があっても隔離した部屋でお預かりするという病後保育をこばと保育園で行っていました。今は、公立と同じように体調不良児対応型での病児保育事業を行っています。これは、登園した時点では体調が良かったけれど、登園後に熱が出たり、嘔吐や下痢をした場合に、看護師が状態を見ながら保護者の方がお迎えに来るのを待つというものです。連絡を行ってお迎えをお願いすることは今の吹田保育園と同じです。

保護者： 洗濯の負担を減らしてほしいという保護者の意見がありました。今は布おむつですが、リースにしてもらえないかという意見です。ただ、リースになると費用負担が増えると思うので、それは困るという方もおられます。こばと会では布お

むつのリースはされていますか。

こばと会： 布おむつのリースは使っていません。実は、以前に布おむつのリースについて調べたことがあります。内容としては、保護者の方とリース会社が直接契約を行うことになっており、10枚単位で綺麗に消毒された布おむつがきます。それを保育士が使って、無くなったら補充するという方法です。保護者の方は一切洗濯をする必要がないのですが、園の責任でたまっておむつを管理する必要があります。使用した枚数に応じて、保護者の方に費用を請求することになりますので、子どもたち一人ひとりが使用した枚数を間違えてはいけません。また、リース品は同じおむつで名前も書いていないので、管理を行う保育士の負担が非常に重くなります。そういった理由で導入はしませんでした。

今、リースを使っていますか。

保護者： リースは使っていません。家で洗濯しています。

こばと会： 吹田保育園での現状はどうなっていますか。

吹田市： 通常は布おむつを使っています。ただ、集団生活をしているため、下痢をしていたり体調の悪い時は状況に応じて紙おむつを使っています。また、どうしてもやむを得ない事情がある場合には、個別に対応して紙おむつを使う場合があります。

こばと会： こばと会の園でも下痢や嘔吐はありますし、質の良い紙おむつも出てきています。布おむつでないといけないのかについても、研究する必要があると考えています。時代が変わってきており、お母さんも忙しいと思いますので。

保護者： 少し厳しいかもしれませんが、英語を話せる保育士を採用してもらい、多言語での保育を受けることができないだろうか、という保護者の意見がありました。そういった対応は可能でしょうか。

こばと会： こばと会が運営している園が英語を教えていれば、そういった提案も可能かもしれませんが、こばと会はそういう方針ではありません。英語を取り入れるとすれ

ば費用負担の問題が発生します。同じクラスの中で、英語を受ける子と受けない子がいてもいいのかという問題も発生します。

この民営化については、現在の吹田保育園の保育をそのまま引き継ぐという内容で応募しており、吹田保育園で行っていることであれば引き継がないといけません、英語は行っていないので難しいと思います。

保護者： 先ほどの紙おむつの話をもう少し聞かせてください。他の私立園では、布おむつを使っていないところもあると聞きます。今後、相談を行って要望を出していけば布おむつをやめることは可能でしょうか。布おむつの良いところもありますが、やはり負担がとても大きいです。

こばと会： こばと会の職員間で話をしてもなかなか結論が出ない問題です。布おむつの方がトイレの自立が早いという意見もありますが、実際にはあまり関係がないと思っています。今の日本の紙おむつは非常に質が高いので、衛生面などを考えると布おむつよりも良い部分があります。

ただ、紙おむつの場合はおむつを変えるタイミングが難しいです。経済的なことを考えると、あと1回くらいはおしっこを吸収できるからまだ変えないでほしいという要望が出てきますが、園としては変える時間には変えないといけません。そういったことを保護者の方と話し合う必要があります。

こばと会では布おむつが基本ですが、下痢などの場合はすぐ紙おむつにしたりするので、実際には布おむつを使っていない時たくさんあります。他の私立園を見ると、歴史の長い園は布おむつを使っていて、新しい園は紙おむつといった傾向があるような気がします。どちらも良いところがあるし、社会情勢も変わってきているので、みんなで話し合っていきたいと思っています。

保護者： 南保育園の一泊保育に参加されたとお聞きしましたが、吹田保育園の一泊保育にも参加されるのですか。

こばと会： 来年4月から合同保育が始まりますので、来年の一泊保育にはこばと会の職員が参加させていただきます。

保護者： 吹田保育園の保育を引き継いでいただけることに感謝しています。ただ、やは

り移管前後の時期に子どもたちが受ける影響が一番心配です。特に、配慮が必要な子どもたちは大きな影響を受けると考えています。

これから保育士を採用されて、実際に吹田保育園で働くまでに、発達障がいなどの知識をどの程度研修されるのでしょうか。市などが主催する研修に参加したりできるのか教えてください。

こばと会： 職員配置については、そういった経験を持つ職員を採用しますし、今の職員の異動も含めて対応しようと考えていますので、まったく経験や知識がない保育士だけで保育をするつもりはありません。

吹田市から無料で参加できる研修を定期的に案内していただいているので、こばと会の各園から参加しています。こばと会の保育士は勉強熱心なので、自分たちの専門性を磨くために、仕事が終わってからも自費で研修に参加している職員が多くいます。

移管時に、子どもたちへの影響がまったく無いとは思いませんが、しっかりと職員が対応していきますので安心していただきたいと思います。

保護者： 吹田保育園をこばと会に移管することを、在園している子どもたちにどのような形で説明される予定ですか。

吹田市： 来年度から合同保育が始まり、こばと会の保育士が来てくれます。子どもたちに一気に伝えても理解するのは難しいと思うので、こばと会の保育士と遊んだりする中で少しずつ伝えていきたいと思っています。まだ職員会議でもしっかりと話し合っていないので、こういった形で伝えれば、子どもたちにとって分かりやすいのか検討していきたいと思っています。

保護者： 今は、雨が降ると廊下に吹き込んで床が水浸しになってしまいます。困っているという保護者の声がありますので、移管するまでに対応していただくことは可能ですか。

吹田市： 昭和 50 年代前後はエアコンもなかったですし、小学校も含めてこういった開放廊下の建築が主流でした。建物の構造上、雨の吹込みを完全に防ぐことは難しいと思いますが、可能な修繕については出来る限り相談に乗らせていただくつもり

です。

保護者： 吹田保育園の建物については、そのまま無償でこばと会に渡す予定であると聞きましたが、吹田保育園に置いてある備品等はどうされるのですか。

吹田市： 基本的には備品も現状どおり無償でお渡しする予定です。ただ、こばと会に見てもらって、必要なものとそうでないものを取り分けていただきたいと思います。

保護者： 三者懇談会は移管後5年間開催するとのことですが、これは定期的に行うのでしょうか。それとも、何か問題が起こった時に開催するのでしょうか。

吹田市： 三者懇談会は、保護者・こばと会・市の三者のいずれかが要請した場合には開催できるようになっています。数か月おきに必ず開催するというのではなく、開催の必要があると考えた時に要請があって開催するものと考えています。

課題がいくつか出てきた場合には開催の間隔が短くなることもありますし、引継ぎが順調に進んでいき、特に開催する必要がない場合には、開催の間隔が長くなるということもあると思います。

保護者： 事前にしっかりと準備をしても、移管後には何らかの問題は出てくると思っています。そういった場合の対応プロセスについて市はどのように考えているのでしょうか。誰かが頑張らなくて声をあげないと三者懇談会の場を設けることができず、解決する方向に進んでいかないといいことはないのでしょうか。

吹田市： 移管後にはアンケートを実施して保護者の方の御意見をいただこうと思っています。また、こばと会には福祉サービス第三者評価を受審してもらうことになっていますので、そういった中で、何か課題や改善すべき点があるようであれば、市から三者懇談会の開催を呼びかけることがあると思います。

また、移管後も園長に相談をされたり、クラス懇談会の場での話し合いを行ったりしながら課題を解決していくことは可能だと思います。

こばと会： こばと会では、職員代表と園長、保護者代表で構成する三者運営委員会という



ものがあります。また、保護者会もありますので、何か課題がある場合にはその場で話し合いを行っています。

移管後の吹田保育園では、課題がある場合や新しい取組みをする場合に三者懇談会で話合っていくことになっていきますので、保護者会もこの場を活用していただきたいと思います。

保護者： 民営化によって得られた財源については、待機児童対策をはじめ、様々な子育て支援施策の充実を図るために活用するということでした。私立保育所への支援等、具体的に考えていることはありますか。

吹田市： 具体的なお話を今の段階でお伝えするのは難しいです。市の財政は歳入と歳出が別になっていて、確保した財源をそのままこの施策に充てるという仕組みにはなっていません。仮に 8,000 万円の財源を確保できたら、子育て支援施策の事業を同額程度増やしていくという形になると考えています。今の民営化実施計画から考えると、平成 31 年度以降に確保した財源を活用できることとなりますので、その時にどういった施策に使われたのか御報告させていただきます。

市は、公私立にかかわらず、子どもたちがどこに行っても同じような保育を受けることができる基盤整備を進めています。待機児童の方が保育所に入れるような整備をしなければいけませんし、保育士の質も高めていかなければいけません。

保育士の定着を図るために、今年から 2 人目のフリー保育士の人件費について補助を行っています。以前から通常の配置基準プラス 1 人分の保育士について人件費の補助を行ってきましたが、今年から 2 人目も対象としています。2 人分を対象としているのは、大阪府下でも吹田市だけだと思います。また、保育士の宿舍の借上げ費用を 10 年間助成して保育士の定着を目指しています。

病児保育事業の拡充も進めたいと思っています。就労されている保護者にとって、お子さんの急な発熱などは非常に困ってしまうことだと思います。今は、市内で 3 か所しか実施していませんが 5 か所を目標としておりますので、多くの保護者の方が利用できるように拡充していきたいと思っています。

保護者： こばと会では 5 歳児で園外キャンプを実施しているそうですが、どのような内容ですか。また、今年度はどこに行きましたか。

こばと会： 去年から兵庫県の三田市に行っています。1時間ほどバスに乗って、現地で1泊して川遊びなどをしています。それまでは佐用町に行って2泊3日のキャンプを行っていましたが、川遊びなどの安全管理をするためには、多数の職員の引率が必要になります。残された職員だけで園の保育をするのが難しいですし、今の子どもたちの体力も落ちてきていますので、保護者の方と話し合っって今のやり方になっていきます。

保護者： 移管後は、吹田保育園とは別の園で一時預かりをする予定と聞きましたが、場所はすでに決まっていますか。

吹田市： 今は、吹田・藤白台・いずみの公立保育所3園とのびのび子育てプラザで一時預かりをしています。吹田保育園の代わりに他の公立保育所で実施する予定ですが、場所は検討中です。公立保育所の一時預かりは、地域の保護者の方のリフレッシュを目的にお預かりするという役割がありますので、減らすことなく近隣の園で実施したいと考えています。

こばと会： こばと会としては、移管後に吹田保育園で一時預かりをする予定はありません。一時預かりの必要性は理解していますが、一時預かりをするには、担当の保育士を採用しないといけません。まずは在園児の引継ぎに専念したいということです。ただ、こばと会では4月から小規模保育事業で一時預かりを始めています。公立と私立で多少の違いがあるかもしれませんが、この地域で一時預かりを必要とする方が困らないようにと考えています。

将来的には吹田保育園で一時預かりを実施する可能性はあると思いますが、色々な事情を考えたうえで移管後すぐに行う予定はありません。

保護者： 移管後は、こばと会で園の建て替えを検討されると思います。以前にこばと保育園を建て替えた時の様子を教えてください。

こばと会： こばと保育園の建て替えをする時には、幸町の給食センターがあったところに仮園舎を建てました。1年間仮園舎で保育を行うことになったので、園児や保護者の方に様々な御協力をいただきました。給食設備が十分でなかったので、1年間仕

出しのお弁当で御負担をおかけしたこともありました。ただ、子どもたちが少しでも楽しく過ごせるように職員と保護者の方が一生懸命頑張りました。費用を節約するためにお父さんたちがトラックを出してくれたり、遊具を運んでくれたりしました。そうやってみんなで努力しながら、1年間かけて素敵な園舎を建てることができました。

吹田保育園も将来的には夢のある建て替えを保護者のみなさんと一緒にできたらいいなと思っていますが、まずはきちんと現状の保育を引継ぐことが優先だと思っています。

保護者： 先ほど移管前後の子どもたちへの影響が心配という発言がありました。漠然とした不安を保護者は感じていると思います。あまりネガティブなことを聞くと不安をあおるかもしれませんが、他市の事例で良くない影響があったということも知っておきたいと思います。私たちはそういった情報を得ることができないので、市が何か情報を持っているのであれば教えてほしいです。

吹田市： 吹田市で民営化を進めるにあたって他市の事例を参考にしています。様々な市からお聞きしてきましたが、民営化を行うことによって、子どもたちや保護者に良くない影響があったということはほとんどなかったです。民営化対象園の園児が転園希望を出したということも聞いておりません。

なぜかという、他市でも移管前の合同保育や移管後の引継ぎ保育といった引継ぎの準備をしっかりと行っているからです。さらに、吹田市では合同保育の期間を他市よりも長くとり、引継ぎ職員も多く来てもらうようにしていますので、かなり手厚い体制となっています。

また、移管先となる事業者は、吹田保育園と同じ吹三地区で十分な実績のあるこばと会ですので、安心していただきたいと思います。

こばと会： こばと会は来年4月から南保育園を引き継ぎます。吹田市の合同保育の基準では、今年の12月までは2人の保育士が参加することになっていますが、今月から他の保育士たちも研修という形で前倒して、何日間か参加してもらおうと思っています。引き継いでいく職員に負担がかからないようにしたいですし、子どもたちや保護者の方に安心していただけるように最大限の努力をしていきたいと思っています。

また、4月から合同保育に参加している2人の保育士には、園長が出席する会議に毎月参加してもらい、きちんと報告を受けています。こばと会全体で共通認識を持つようにしていますので、その点についてもご安心ください。

御質問とは別に1点だけお伝えさせてください。保育所を運営する際に保育所保育指針というものがありますが、来年の4月に変更が予定されています。今からしっかりと読み込んで勉強していきますが、民営化とは別に保育に影響がある部分については、今後こういった場を通じてお伝えさせていただくことがあるかもしれませんので、よろしく願いいたします。

吹田市： 終了時刻を過ぎておりますので、本日はこれにて閉会させていただきます。次回開催については、こばと会と保護者会長と調整させていただきます。

本日は御参加いただき、ありがとうございました。